

【身近なワンヘルスの取組】

私たちは、ワンヘルスの理念を「県民一人ひとりの日常」に落とし込むため、「地元の食材を食べよう」という地産地消の推進を提案します。

地産地消は、日常生活の中で誰でも簡単に取り組むことができ、特別な準備をしなくても個人で実践できる点に魅力を感じ、興味をもちました。また、これまでも地元の食材を意識して選び、食べることを続けてきたため、自然と身近に感じていたことも理由の一つです。普段の生活の延長で取り組めることに価値を感じ、より関心をもつようになりました。

【県民への伝え方】

「地元のごはん、あなたを救う。地球を救う。」というメッセージを込めたポスターを、スーパーや電車のなかに掲示し、PRすることを提案します。

趣旨として、環境の改善を推進しても、日頃から環境意識に関心のない方からすれば目に留まらないため、まずは自分事として注目してもらうことに重点を置いたフレーズにしました。

掲示場所については、スーパーに来られた消費者に手を伸ばしてもらうという狙いがあります。

また、公共交通機関については、いつも地元の食材を買わない方、及び利用者の大多数の方をターゲットにすることを想定しています。

ポスターを見て、地元の食材を買ってみたいくなるという狙いです。

【期待される効果】

この取り組みにより、2つの大きな効果が期待できます。

まず、人の健康促進です。鮮度が高く栄養価の豊富な地元食材を摂取することで、県民の健康寿命を延ばします。

それに付随して、環境への貢献です。輸送距離の短縮による二酸化炭素排出の削減、いわゆる脱炭素を推進します。

お買い物という毎日の小さな選択が、自分、そして地球の未来を救う一票になる。そんな「ワンヘルスなライフスタイル」を私たちの県から広めていきたいと思えます。